

# 第62回日本農村生活研究大会 in 群馬

## プログラム

期 日：平成26年9月26日（金） 12:45～17:30

27日（土） 9:00～16:00

会 場：群馬会館ホール（26日）群馬県庁昭和庁舎（27日）：前橋市

★シンポジウム 26日（金） 13:15～17:00 会場：群馬会館ホール（26日）

### 「地域に根ざした6次産業化による農業・農村の活性化

#### —転換期における農業・農村現場の新たな可能性—

座 長：諸藤享子（〔一社〕農山漁村女性・生活活動支援協会）  
金井豊子（群馬県技術支援課）

基調講演：「6次産業化の動向と課題—女性の役割を踏まえながら—」  
小林茂典氏（農林水産省農林水産政策研究所）

報告者：伝統野菜「国分になじん」の復活 地域に支えられる店づくりの実践  
眞塩光枝（〔農〕国府野菜本舗代表理事）

地元農産物の美味しさをPRしたい

— 関越自動車道赤城高原SAにおける農産物販売 —  
保坂洋子（昭和あぐり代表）

女性が主体となった6次産業化の動向と課題

澤野久美（日本大学・〔独〕日本学術振興会特別研究員PD）

★ラウンドテーブル（1） 27日（土） 13:00～15:30 会場：群馬県庁昭和庁舎

### 「若手農業者による6次産業化が拓く農業・農村の可能性」

コーディネーター 宮城道子（十文字学園女子大学）

話題提供 戸黒 努（戸黒農園）

長谷川恵理子・原沢智子

（ぐんま農業フロントランナー養成塾卒業生）

コメント 高橋みずき（明治大学大学院）

★ラウンドテーブル（2） 27日（土） 13:00～15:30

### 「農村を覆う新たな日常生活問題を考える」

コーディネーター 櫻井清一（千葉大学）

話題提供 橋本 芳（佐賀大学）

干川シズ子（つまごい竹の子グループ）

コメント 小坂田 稔（美作大学）

主 催：日 本 農 村 生 活 学 会

共 催：群馬県・ぐんま女性アグリ起業ネットワーク会議

【第1日（9月26日・金）】 会場：情報交流会以外はすべて 群馬会館ホール

一般受付（12:00～）

大会総合司会：清水千鶴（前群馬県）

(1)開会式（12:45～13:05）

開催県ご挨拶：群馬県農政部長  
学会長挨拶およびテーマ開示

(2)シンポジウム（13:15～17:00）

### 地域に根ざした6次産業化による農業・農村の活性化 —転換期における農業・農村現場の新たな可能性—

座長： 諸藤享子（〔一社〕農山漁村女性・生活活動支援協会）  
金井豊子（群馬県技術支援課）

基調講演：6次産業化の動向と課題—女性の役割を踏まえながら—  
小林茂典（農林水産省農林水産政策研究所）

報告者：

- ・伝統野菜「国分になじん」の復活 地域に支えられる店づくりの実践  
眞塩光枝（〔農〕国府野菜本舗代表理事）
- ・地元農産物の美味しさをPRしたい—関越自動車道赤城高原SAにおける農産物販売—  
保坂洋子（昭和あぐり代表）
- ・女性が主体となった6次産業化の動向と課題  
澤野久美（日本大学・〔独〕日本学術振興会特別研究員PD）

総合討論 15:40～17:00

近年の農業・農村情勢変化は著しく、農業者の高齢化、担い手不足、TPP交渉参加問題等課題が山積している。これに加えて関東甲信地域を中心とした大雪被害対策などがあげられる。

その一方で、農業・農村現場を見ると、地域に密着した活動や女性の感性を生かすなど、生活の視点に立った新たな農業経営の展開、特に6次産業化や農村女性起業の先進的な取り組みが進められており、注目に値する。

そのため、起業活動等の先進的事例を踏まえて、転換期における地域活性化のあり方について考察を行う。

(3)学会賞授与式（17:00～17:30）

(4)情報交流会（17:45～）

※情報交流会の会場は、群馬県庁地下食堂「ピープル21」ですので、少し移動します

※※群馬県農村女性起業などの試食がございますので、情報交流会へのご参加も、ご検討のほどよろしくお願ひします。

**【第2日（9月27日・土）】 会場：群馬県庁昭和庁舎内で 2カ所に分かれます**

(1) 一般報告（9:00～11:20）群馬県庁昭和庁舎

**A会場（9:00～11:20）会場：群馬県庁昭和庁舎 34 会議室**

1人20分（報告15分 質疑応答5分を目安に）

座長 太田美帆（玉川大学）

① 農業分野における障がい者就労の現況と就労支援の課題

東京農業大学 ○杉原たまえ  
岩本 純明

② 農業高校における農業教育の今日的意義に関する研究  
—愛媛県立大洲農業高等学校を事例として—

日本大学大学院 ○山本 裕太  
日本大学 川手 督也  
宮部 和幸

座長 大川恵美子（埼玉県加須農林振興センター）

③ 就農定着に向けた若手農村女性育成

—群馬県担い手（農村女性）担当普及指導員調査研究より—

群馬県渋川地区農業指導センター ○田島いずみ  
群馬県農村生活研究会 狩野美紀代  
他

④ 千葉県東葛地域における女性農業者の社会参画の現状と課題

千葉県農業事務所 ○高野美奈子  
東葛飾農業事務所 鈴木 幸子  
坂本裕美子  
昭和女子大学 粕谷美砂子

座長 粕谷美砂子（昭和女子大学）

⑤ 壮年前期世代の女性農業者のキャリア形成プロセスとその特徴

日本大学（〔独〕日本学術振興会特別研究員PD） 澤野 久美

⑥ 女性農業委員の登用経緯に関する類型化について

—新潟県を事例として—

明治大学大学院 高地 紗世

⑦ 都道府県農政と農村女性政策

明治大学大学院 ○岩本 悠里  
明治大学 大内 雅利

**B会場 (9:00~11:20) 会場：群馬県庁昭和庁舎 26 会議室**

1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

座長 後藤徹寛 (佐賀大学)

- ① 豪雨災害に備える自主防災力向上を目指した地域活動の展開  
—甲府市帯那地区での手作り防災マップWSから地区警戒雨量基準の策定まで—  
〔独〕農研機構 農村工学研究所 重岡 徹
- ② 環境と調和した新たな流域管理の現状と課題  
—神奈川県小田原市の取り組みを事例として—  
日本大学大学院 ○湯川真佐輝  
日本大学 川手 督也  
高橋 巖
- ③ 中山間地域における行政主導による農業体験運営の実態  
—栃木県農政部と栃木県農業振興公社による「とちぎ夢大地応援団カレッジ」を例として—  
東京農工大学大学院 田中 美香

座長 飯坂正弘 (中央農業総合研究センター)

- ④ 集落営農法人における農産加工・販路開拓の意義と課題  
—広島県世羅町(農)さわやか田打の事例より—  
〔一財〕農政調査委員会 ○佐藤 奨平  
茨城大学 西川 邦夫
- ⑤ 農産物直売所による「出張直売」活動の問題改善  
—店舗実験による改善策の検証—  
〔独〕農研機構 近畿中国四国農業研究センター 室岡 順一

座長 川手督也 (日本大学)

- ⑥ 都市の果樹生産と販売の歴史的変遷  
—稲城市の梨栽培を事例として—  
明治大学大学院 菊池 和美
- ⑦ 大型直売所設置に伴う農業者の農産加工に関する支援  
—農業者の農産加工に関する技術支援と HACCP 手法導入による農産加工品の安全性確保支援—  
神奈川県農業技術センター ○小川 暁子  
厚木市農業協同組合 中澤 美智子

(2)昼食 (11:30~12:00) : 会場は当日ご案内いたします

※ぐんま女性アグリ起業ネットワーク会議および農事組合法人「国府野菜本舗」のご協力により、

二日目につきましては、お弁当を1個550円にてご用意いたします。

必ず予約が必要ですので、参加申し込みの際に、お弁当の必要・不要もお返事下さい。

(3)総会 (12:00~13:00) 会場：群馬県庁昭和庁舎 34 会議室

(4)ラウンドテーブル (13:00~15:30) 会場：群馬県庁昭和庁舎内で 2カ所に分かれます

① 若手農業者による6次産業化が拓く農業・農村の可能性

会場：群馬県庁昭和庁舎 26 会議室

趣旨：近年若い農業者の中には、6次産業化を目指し、さまざまな取り組みを始めている事例が出てきている。女性の感性を経営に生かした取り組みや、若い世代の新たな取り組み事例を聞き、次の世代の農業を考える。

コーディネーター：宮城道子（十文字学園女子大学）

話題提供：戸黒 努（戸黒農園）

長谷川恵理子・原沢智子（ぐんま農業フロンランナー養成塾卒業生）

コメント：高橋みずき（明治大学大学院）

② 農村を覆う新たな日常生活問題を考える

会場：群馬県庁昭和庁舎 34 会議室

趣旨：農村生活の現代化と都市的生活様式との均一化が叫ばれて久しい。だがその一方で、過疎化と高齢化のさらなる進行に伴い、新たな生活問題が発現しているのも事実である。学校の統廃合、医療・介護へのアクセス、食料品アクセス問題（買い物をめぐる困難）など、都市部でも発生しているが農村部でより深刻な問題は多い。

ここ数年のラウンドテーブルでは、地域活性化や女性起業など地域農業経営のイノベーションを促す取り組みや、東日本大震災という未曾有の出来事に対する取り組みを取り上げることが多かった。だがこの辺りで、現在の農村の日常生活を覆う様々な困難を冷静に見直すことも必要ではないか。このラウンドテーブルでは、上記の諸困難について見識を持つ方々の報告を聞きながら、農村の日常生活問題を再整理したい。

コーディネーター：櫻井清一（千葉大学）

話題提供：橋本 芳（佐賀大学）

干川シズ子（つまごい竹の子グループ）

コメント：小坂田 稔（美作大学）

ラウンドテーブル総括 (15:30~15:50) 会場：群馬県庁昭和庁舎 34 会議室

(5)閉会式 (15:50~16:00 ころの予定) 会場：群馬県庁昭和庁舎 34 会議室

挨拶：清水千鶴（前群馬県）

(終了・会場片付け)



○大会参加費等について

・参加費（要旨代を含む）	日本農村生活学会会員	4,000円
	非会員	6,000円
	学生会員（含非会員）	2,000円
	要旨のみ	2,000円
	情報交流会ご参加の皆様全員	4,000円
・大会記念誌（過去の大会の歩み）	会員・非会員（希望者）	1,000円



【会場までの交通案内】

1日目会場 [群馬会館] 住所 〒371-0026 群馬県前橋市大手町二丁目1番1号

電話番号（代表） 027-226-4850

2日目会場 [群馬県庁] 住所 〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

電話番号（代表） 027-223-1111

※鉄道とバスの場合

JR 上越線・両毛線 新前橋駅の1番乗り場、あるいは2番乗り場から乗車

所要時間 10～15分 運賃 150円

だいたい20分に1本は、平日土曜とも発車しております。

JR 両毛線 前橋駅の1番乗り場、あるいは2番乗り場から乗車

所要時間 6～8分 運賃 150円

だいたい15分に1本は、平日土曜とも発車しております。

上毛電鉄線線 中央前橋駅の1番乗り場、あるいは2番乗り場から乗車

所要時間 6～8分 運賃 150円 ※午後は本数が減ります。

※ご参考：県庁行きバス時刻表のURL <http://www.pref.gunma.jp/04/h2110010.html>

※※お車の場合：関越自動車道前橋インターチェンジから 国道17号経由、約10分

※会場周辺の地図



(公益財団法人 前橋観光コンベンション協会 HP より)



【駐車場案内】 駐車場: 群馬県庁立体駐車場 (無料認証券を発行予定)

【会場周辺の宿泊案内】 (下にホテル名)



\* 会場周辺の宿泊案内 (群馬県庁周辺)

料金目安

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| ①群馬ロイヤルホテル (群馬県庁徒歩5分)     | (シングル 8000 円程度)    |
| ②前橋テルサ (群馬県庁より徒歩10分)      | (シングル 6300 円～)     |
| ③前橋ホテルサンカント (群馬県庁より徒歩10分) | (早得シングル 4100 円～)   |
| ④ホテルサンダーソン (群馬県庁より徒歩10分)  | (シングル 6300 円程度)    |
| ⑤ロングサンドホテル (群馬県庁より徒歩12分)  | (シングル 5000～6000 円) |

なお、前橋駅前周辺にも、宿泊場所は複数ございます。



以下、毎回のお願いです。

**重要：事務局でご用意しております書式とは、別の様式で領収書が必要な場合、  
かならず事前の参加申し込みをお願いします。  
あわせて、「領収書の書式」も、申し込みの際備考欄へご指示ください。  
当日申し込みの場合、領収書をお渡し・お送りするまでに日数がかかります。**

**申し込み方法：申込書に必要事項をご記入のうえ**

**9月19日（金）正午までに** 下記宛先までお送り下さい。

間に合わない場合、当日受付をいたしますが、  
極力事前にお申し込み下さい。

なお申込書ファイルは学会HPからダウンロードできます

学会ホームページURL                      <http://ruralife.ac.affrc.go.jp/>

参加申し込み先：大会委員会 事務局              イイザカ タダヒロ

**なお参加費は当日現金にて徴収いたします。振り込みはできません。**

**FAX：029-838-8515**

お問い合わせ先：〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1

(独)農業・食品産業技術総合研究機構

中央農業総合研究センター              農業経営研究領域内

日本農村生活学会 大会事務局              イイザカ タダヒロ

Fax：029-838-8515              E-mail：bobmac@affrc.go.jp

参加申込先 FAX 029-838-8515 (大会事務局 イイザカ)

第 62 回日本農村生活研究大会 in 群馬 参加申込書

氏 名	(フリガナ)		
会員区分 (マルをつけて下さい)	会員 (4,000円)	・ 非会員 (6,000円)	・ 学生会員 (非会員含む) * (2,000円) <small>*大学・大学院等を卒業されてから就職後、再びご入学されている方は、学生とみなされませんのでご了承ください。</small>
所 属 (勤務先) 又は (学校名)			
都道府県名			
連絡先住所 (楷書にて わかりやすい ようお書き下さい)	自宅 ・ 勤務先 (勤務先の名称も、ご記入ください) 〒  TEL _____ FAX _____		
E-mail (お持ちの方)			
9月26日 (金) 大会第1日	参加 ・ 不参加	備考 (申込者からのご連絡事項)	事務局記入欄
9月26日 (金) 情報交流会	参加 ・ 不参加		
9月27日 (土) 大会第2日	参加 ・ 不参加		
9月27日 (土) お弁当 550円	必要 ・ 不要		

- ・ 該当欄に必ずご記入下さい。また、該当する項目を○で囲んでください。
- ・ 連絡先住所を勤務先となさる方は、住所に機関名もご記入下さい。
- ・ 宛名入りの領収書が必要な場合には、**事前**に必ずご連絡下さい (備考欄にご記入下さい)。
- ・ ご記入いただいた情報のうち、お名前とご所属のみ参加者名簿に記載させていただきますのでご了承願います。

9/ 19 (金) 正午までに FAX か、または郵送 (返信メールがない場合は、念のため再度ご連絡願います)

\*参加費は、当日受付にて承ります。(振込不可) \*なお、当日参加も可能です。

大会参加申し込み先 : 大会委員 FAX : 029-838-8515 E-mail : bobmac@affrc. go. jp (イイザカ)

大会問い合わせ : 〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 (独) 農研機構中央農業総合研究センター内  
日本農村生活学会 大会委員 イイザカ・タダヒロ  
FAX: 029-838-8515 E-mail : bobmac@affrc. go. jp